

道徳科学習指導案

主題名「自分を守る力」〔学指要領：A 節度・節制〕

令和5年11月17日（金） 第5校時 6年1組教室
6年1組 指導者 千明 大士郎

I 主題設定の理由

1 価値観

本主題は、小学校学習指導要領「特別の教科 道徳編」の内容 A節度・節制「安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること」に基づくものである。基本的な生活習慣の確立は、私たちの生活を維持していくために、何よりも必要なことの一つである。高学年として、望ましい生活習慣の大切さに気付き、自身の生活を見直し、節度ある生活を送れるようにするために、継続した指導が必要である。そして、自分の生活を振り返り改善点を見直して、望ましい習慣を身につける態度が大切である。

特に、危険から身を守り、自分だけでなく周囲の人々の安全にも気を付けることを指導することが求められている。この学習を通して、児童が感情だけで行動しないためにも情報社会で必要なことに気付き、よく考え節度をもって行動しようとする態度を高めたい。

2 児童観

児童は、これまでの学習や日常生活から基本的な生活習慣を身に付けることの大切さは知っている。しかし、様々な欲求に負けてしまい、「まあいいか」「自分は大丈夫」といった意識から基本的な生活習慣を崩してしまっている児童が少なからずいる。また、クラスの多くの児童が、自身のスマートフォンやゲーム機を所持し、オンラインで他者とつながる機会を得てしまっている。世の中には、さまざまな危険があふれている。魅力的な言葉で唆されたり、つい誘いに乗ってしまい危険な思いをしたり、判断を鈍らせ不用意に個人情報や教えたことなども少なくない。これらのことから、本授業を通して自分の生活を見直し、危険を予測し、危険から身を守ろうとする道徳的実践意欲と態度を育てたい。

3 教材観 教材名「自分を守る力って？」（出典：生きる力 6 日本文教出版）

本教材は、「小学生がひがいにあう事件を、ニュースで目にする場合があります。あなたが事件に巻き込まれないように、そして危険をさけるためには、どういう考えが大切なのでしょう。これから出てくる場面をもとに、みんなで話し合ってみましょう。」という文章から始まる。最初の場面は、お母さんにお使いをたのまれたヒデキが、スーパーに向かう最中、友達のトシオに「メンバーが足りないから、いっしょにサッカーをしよう。」と誘われる。その誘いにのり、サッカーが終わった後、お使いの途中ということを知っていた中学生にお金を貸してほしいとトラブルに巻き込まれてしまう内容である。その後、ヒデキが巻き込まれた場面とは別に、問題がある4場面が紹介される構成になっている。

本教材を通して、自分を守るものの大切さや現状の難しさといった価値理解や人間理解について考えを深めさせると共に、自分を守る力とはどのようなことなのかをさまざまな場面で考えることを通して、危険を予測したり、危険を避けたりして危険から身を守ることにについて考えさせることができる教材である。

4 校内研修との関わり

本年度の本校の校内研修の主題は、「自他を大切にし、よりよく生きようとする児童の育成」であり、副主題は「多面的・多角的に考えるための発問や交流活動の工夫を通して」である。

本校の児童の実態として、自分に自信がもてず発表できない、善悪の知識はあっても、実際の場面で正しい判断ができない、相手の意見を取り入れ、自分の考えを深めることができないなどが挙げられる。そこで、本校ではこの実態を踏まえて、道徳の授業において、「ねらいを踏まえて主人公や教材に対する立ち位置を変えた発問をすることにより、児童の多角的・多面的な思考を促す」「児童ひとりひとりが自信をもって話し合い、考えを深めていけるような交流活動の工夫」を指導のあり方の軸として、本年度の研修に取り組むこととした。

本授業では、まず導入場面の工夫として事前アンケートの結果を提示し、危険から身を守るものの難しさを児

童が自分事として捉えられるようにする。

発問の工夫について、教材文についての基本発問では主人公（ヒデキ）の心情を問う「共感的な発問」を行い、主人公が友人の誘いと買い物のどちらを優先するのか思い悩む心の内を考えることを通して、人間理解を深め、主人公の行動を多面的に捉えられるようにする。中心発問では、主人公や登場人物への自我関与を促しながら自分の気持ちや考えを明らかにする「投影的な発問」を行い、自分事として自覚を高めながら価値理解を深め、危機を予測して回避する心構えを多角的に捉えられるようにする。また、補助発問では、流されやすい状況や冷静に判断することが難しい状況などを想定した「揺さぶり」や「問い返し」を行い、児童の思考を活性化させて深く考えさせるようにする。

交流活動の工夫について、共有時間を短縮しながらより多くの意見に触れられる機会を作るために、ICTを活用する。また、話し合いの場面で協働学習をスムーズに行えるようにワークシートをスライドで統一する。

以上の手立てにより、情報社会に必要な知識を理解し、よく考え節度をもって行動するための道徳的実践意欲と態度を育てていくようにする。

II 本時の学習

- 1 **ねらい** 危険な状況に陥らないためには、どのような考えや行動が必要なのか考える活動を通して、危険から身を守り、自他の安全に留意することの大切さに気付き、危険を予測し回避することができる道徳的実践意欲と態度を育てる。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問（○基本発問 ◎中心発問 ◇補助発問） 予想される児童の反応「S」	○指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。（5分） ○「自分を守るとはどのようにすることですか。」 S：危険なことはしない、危険なところに近づかない。 S：自分を守ることに対して、できていると思っているけれど、実際に何をするのか分からない人がたくさんいるな。 <めあて> 自分を守るための心構えとは何だろう。 	○自分を守ることがよくわからないことや普段から自分を守る意識が低いことを自覚させたり、どうすれば自分を守ることができるのかという問題意識を高めたりできるように、アンケートや事例を提示する。 【★提示・配布】
<ol style="list-style-type: none"> 2 教科書の教材文の範読を聞く。（3分） 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。（22分） 【★共有】 ○「ヒデキがサッカーをすることにしたときの気持ちは、どのようなものだったでしょうか。」 【共感的】 S：お使い途中だけど、困っているから助けてあげよう。 S：サッカー楽しそうだな、少しぐらいなら大丈夫かな。 S：お使いが遅くなるとお母さんが心配するかな。 ○「この後、ヒデキは危ない状況になりました。皆さんもヒデキみたいな経験をしたことがありますか。」 S：友達の家でゲームをし過ぎて暗い中帰って危なかった。 S：SNSで知らない人からのメールや通知が届いた。 ◎「このようなことが起こらないためには、あなたがヒデキならどう考えて行動しますか。」 【投影的】 	○教材文の要旨を捉えやすくできるよう、場面絵を活用しながら登場人物と状況を簡単に整理して確認する。 ○ヒデキの心情を問う「分析的な発問」を行い、友人の誘いと買い物のどちらを優先するのか悩みながらもサッカーを選んだ心の内を考えることで、主人公の行動を多面的に捉えられるようにする。 ○誰でも危険に巻き込まれる可能性があり、危険から身を守ることは大切であるという意識を高められるように、自らの体験を振り返らせる基本発問を行う。 ○自分事として自覚を高めながら価値理解を深め、危機を予測して回避する心構えを多角的に捉えられるように、ヒデキへの自我

<p>S : まわりの様子をよく見て行動する。 S : 危なそうな雰囲気の人がいたら近づかないで距離をとる。 S : お金を持っているときは、寄り道をしないで、普段より気を付けて行動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇「声をかけてきた人が断り辛い相手だったり、急いでいるからとせかされたりしたらどうしますか。」</p> </div> <p>S : 断れないかも。 S : 危険の可能性を考えると気まずくても断るべき。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○「場面ごとの問題に対して自分たちならどう危険を回避するか考えてみましょう。」 【投影的】</p> </div> <p>【①の場面】 S : 道路は走らず、周囲の交通安全に気を付ける。 S : 遅くならないように、時間を決めてアラームを設定する。</p> <p>【②の場面】 S : 個人情報なのできっぱりと断る。 S : 知らない人から声をかけられたら、黙って立ち去る。</p> <p>【③の場面】 S : 悪用される可能性もあるので断る。 S : 携帯電話は必要とき以外は、しまっておく。</p> <p>【④の場面】 S : 断り切れない場合は、お父さんお母さんに助けを求める。 S : 法律で禁止されているものについて知っておく。</p> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてももう一度考える。(8分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○「危険を避けて自分を守るためには、どんな心構えをもつことが大切でしょうか。」</p> </div> <p>S : これくらい大丈夫と油断しない。 S : 思いつきやその場の雰囲気に流されることなく、正しいと思うことをしっかり行う。 S : まわりの様子をよく見て、しっかり判断して行動する。 S : 自分の安全や先のことを考えて行動する。</p>	<p>関与を促しながら自分の考えを明らかにする「投影的な発問」を行う。</p> <p>○流されやすい状況や冷静に判断することが難しい状況などを想定した補助発問をすることで、児童の思考を活性化させて深く考えさせるようにする。</p> <p>○危機を予測して回避する具体的な考え方を多角的に捉えられるように、「投影的な発問」を行い、自分ならどう危険を回避するかという視点を明確にし、グループごとに話し合わせる。</p> <p>○多様な意見を児童が知り、自分を守る力について考えを広げられるように、グループごとに話し合った結果を発表させる。 【★一覧表示】</p> <p>○互いの考え方を見ながら、意見交流を行い、考え方を深められるように、クラウド上の共有スライドに班の意見メモを書く。 【★共有・データの保存・提出】</p> <p>○児童が授業前の自分と比較しながら考えられるように、授業導入で提示したアンケートをもう一度提示し、クラス全体で共有する。</p> <p>○自分事として捉えられるよう、身の回りにはその他にも数多くの危険が潜んでいること、ほんの少しの違いで巻き込まれることを意識させてから考えさせる。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。(7分) 【★データの保存・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><振り返り> S : 今日授業を受けて、今まではその場その場であまり考えずに、行動してしまうことがあったと思いました。これからは、その時の感情や雰囲気、弱い心、安易な考えなどに流されることなく、周りの様子をよく見て、自他の安全や先のことをよく考えてから行動したいです。</p> </div>	<p>○よりよい自己の考えや生き方への思いや願いを明確にするため、自分を守ることにについて、今までの自分、これからの考えや行動について、気付いたことを記述させる。</p>

<p>◆評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの記述、発言から、「危険を予測したり、危険を避けたりして危険から身を守ることについての大切さや難しさなどを多面的・多角的に考えている」姿を見取る。 ・タブレットの記述、発言から、「自分の生活に関わる危機意識や安全配慮の大切さを見直し、危険回避の方法や自分を守る心構えについて考えている」姿を見取る。
